

荒廃農地を開墾して2年目。今年も作っているのはコメ(ササシグレ)とダイズ(6品種)、そしてヘーゼルナッツです。

締め切り間際にこの記事を書いている7月22日現在、未だにダイズの移植作業は続いています。昨年はダイズ育苗中にほとんど灌水がいらず、移植時ですら一切の灌水が必要なかったくらい天水に恵まれました。今年はいえ、6月6日に梅雨入りをしたものの殆ど降雨はなく6月27日に梅雨明け、その後も7月上旬まで、およそ一カ月間にわたり雨の来ない状況。。。ですが、天候も降雨量も、自分の管理下にはないので是非に及ばず。自分の管理下にあることをやるのみです。



さて、2021年12月から植え付けた30本ほどのヘーゼルナッツ。4本だけ春植え(2022年4月上旬)にしました。「落葉期の晩秋から冬にかけてが移植の適期だけれど、翌春までは植え付けられる」とのことだったので、冬植えと春植えでどれだけ違いがあるだろうかと思い、4本のみ春植えにしました。しかしながら、冬に届いた苗木と春に届いた苗木の質があまりに違い過ぎた為、定植時期による生育の違いは比較検討できませんでした。要するに、春に届いた苗木の方が良かったので、春植え4本の方が樹勢が強く見えます。

今年も植え付けようと思^ホい、圃場の準備中ですが、冬に植えようか春に植えようか迷うところ。おそらく、どちらにしても大した違いは無いような気がしています。



この記事が地域の方々に届く9月1日から、私は協力隊としての2年目を終え、3年目に入ります。近所の方々、地域の方々の暖かさに支えられて日々楽しく活動できることに感謝です。3年目もよろしくお祈りします。

木村 智佳子

地域おこし協力隊令和5年度9月採用について

信里地区では令和5年8月で現地域おこし協力隊の木村さんの任期が満了することに伴い、新たに2名の地域おこし協力隊員の募集を行う予定です。1名は農業分野でワイン用ブドウ農家、1名は空き家対策、移住促進を中心とした活動内容で検討しています。

ご意見・ご要望、また信里地区内で地域おこし協力隊用の住居を有償で貸していただける物件情報などありましたら各区長または地域委員会役員、事務局にお知らせください。

信里小学校に総理大臣表彰

信里小学校 校長 大田 裕一

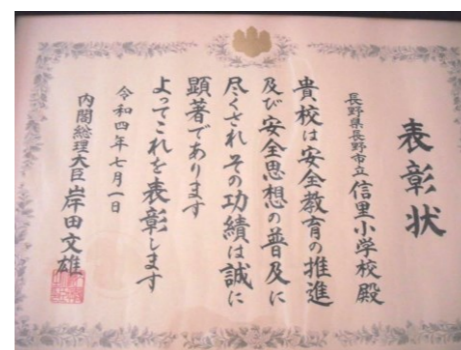


信里小学校は、昭和55年から平成25年までの33年間地域の消防団とともに防火防犯ポスター展の開催と防火防犯学習を行ってきました。また、平成26年から長野県学校安全総合支援授業に応募し、学校安全アドバイザーの支援のもと、防災マップ作りや地域のみなさんとともに防災教室を行ってきました。特に、ここ数年は、河川事務所の方や地質の専門家、長野市危機管理防災課、日赤長野支部、信州大学防災アドバイザーの先生方のご指導の下、地域の地形の特色、犀川氾濫の歴史を学ぶとともに、避難所、避難食体験、タイムライン作り等を行ってきました。

この結果、子どもたちの中に「自分の命は自分で守る」という意識が徐々に身につけてきていると感じています。安全功労者内閣総理大臣賞を受賞できたのも、このように数十年継続してきた安全防災学習と、子どもたちはもちろんですが、区長会、信里地域委員会、保護者の皆さん、防災に詳しい専門家の方々のご協力のおかげだと思っています。

信里小学校の学校目標は、「信里を語る子」です。地域のみなさんと子どもたちが防災、減災について一緒に考え合っている姿を見ていると、まさに防災学習は地域の様子を知らなければできないということが分かりました。まさに「信里を知る、信里を語るができる子の育成」と重なる部分が多いと感じました。

今年度の学校運営の重点のひとつに、「安心・安全な学校作り」を掲げました。この受賞をきっかけに、今後も更に関係各位の皆様と協力しながら、安全防災学習に取り組んでいきたい思います。



空き家相談室より

信里の空き家問題について考える「信里田舎暮らしを推進する会」の作業部会“空き家相談室”では皆様からの空き家や宅地の相談を受け付けています。信里を離れた親戚や知人からの空き家や宅地を手放したいと相談を受けている、近所に空き家があるけど手入れされて無くて危険や不安がある、知り合いが信里への引っ越しを考えているけど空き家や宅地があるのかなどのお家に関する相談、悩み事がありましたらお気軽にお声がけください。

空き家相談室メンバー

- 中島 法子 (有旅一)
- 中島 愛子 (上有旅)
- 北澤 良子 (笹鍋)
- 新井 千寿 (遊谷)
- 橋本 太郎 (若林)

026-274-5206 (事務局)

信里村の誕生

最初にクイズです。信里の「信」は何を意味しているのでしょうか。

〔① 信濃国の「信」 ② 武田信玄の「信」 ③ わからない〕

皆さん、どうでしょうか。クイズに答える前に、信里村がどのように誕生したのかをお話ししましょう。

明治時代になると、新政府の方針で町村の合併が行われました。信里地区は松代藩領で、近世の初め有旅村と山布施村の2か村でしたが、幕末には有旅村・入有旅村・中山新田村・山布施村・山村山村・青池村の6か村からなっていました。

明治5(1872)年に有旅村・入有旅村・中山新田村が合併して有旅村となり、翌明治6(1873)年に山布施村・山村山村・青池村が合併して山布施村となりました。明治9(1876)年に地租改正に伴う飛地整理のため、有旅村の桜井は山平林村(現信更町)へ、浅野は氷ノ田村(現信更町)へ編入されました。

明治12(1879)年に町村ごとに戸長役場を設け、戸長を公選することとなり、有旅村は上有旅に、山布施村は若林に戸長役場を設けました。明治18(1885)年には連合町村制となり、有旅村と山布施村の2か村が連合し、戸長役場を笹鍋に設置し、戸長は官選(林銀作就任)となりました。さらに明治21(1888)年に近世以来の小村を再編させ、自治にたえる新たな町村をつくるために『市制・町村制』が公布されました。長野県では、有旅村と山布施村を1村とする合併案を両村に諮問しました。この諮問に対し、両村からは「異議なし」との答申がなされました。翌明治22(1889)年4月1日に、この2か村が合併して、戸数456、人口2,548人の新しい村が発足し、初代村長には犬石の佐藤喜左衛門さんが就任したのです。これが信里村誕生のお話です。



それでは、クイズの答えです。両村の答申に「起因ヲ詳カニセズ、合併ニケ村ノ意ニ依ル」とあります。つまり「わからない」ということです。しかし、実際には意味があって信里とつけたと思われるので、後世の人びとにいろいろ想像してほしかったのではないのでしょうか。信濃国の「信」、茶臼山にゆかりのある武田信玄の「信」、仁・義・礼・智・信の「信」、信義・信頼・信望・信用などの「信」というように…。ちなみに「里」は村という意味です。歴代村長さんの写真が信里地域委員会事務局(信里合同庁舎2階)に飾られています。ぜひご覧ください。次回は、信里村の篠ノ井町への合併についてお話ししたいと思います。

<クイズ>

信里村が篠ノ井町へ合併したのはいつですか。答えは次回のお話で。

〔①昭和25年 ②昭和30年 ③昭和34年〕

《お知らせ》

- 1 信里地区の歴史資料(書籍・文書・写真など)を収集しています。収集した資料は来年開設予定の「デジタル図書館」へ寄贈して、永年保存していただく予定です。信里連絡所・信里合同庁舎に保存されていた区長会や分館の資料が処分されてしまったので、広く信里地区の皆さんにお願いすることになりました。将来的には「篠ノ井市誌編纂」にもつながると思います。貴重な写真などは複写・デジタル化などをして返却いたします。『しののい交流センターだより(令和4年7月号)』『有放だより(令和4年5月10日発行)』もあわせてご覧ください。お問い合わせは、信里地域委員会事務局(信里合同庁舎2階)までお願いします。
- 2 信里地区の集落名の由来を調べています。諸説あるとは思いますが、自分が住んでいる地区の由来を知ることは、地元を誇りを感じることもつながります。信里地域委員会事務局(信里合同庁舎2階)まで、お知らせください。
- 3 『信里地区史跡・名所巡りガイドマップ(改訂版)』が事務局に置いてあります。興味ある方はどうぞご覧ください。

篠ノ井歴史の会 島田利男

「善光寺開帳」の直筆楽譜を発見！！ さらに本年も二十八点の追加資料の寄贈も

7年に一度の盛儀、善光寺御開帳がコロナ禍の影響を受けながらも、4月～6月過去最長の88日間開催され、前立本尊と「善の綱」でつながる回向柱に触れて円を結ばれ田人が、なんと636万人とのこと。それぞれに健康や平和、未来への祈りを込められたのだらうと思います。こんな折、奇しくも—“大寺のみ庭に風の吹きくれば舞のたもとは皆ゆれにけり”—わが郷土の誇り小山清茂先生作歌作曲の『善光寺開帳』の直筆楽譜が見つかりました。歌曲や合唱曲、ピアノ曲等幅広い作曲活動の偉業に改めて感動です。10月30日のコンサートの際、会場内に特別展示を予定しています。是非ご覧ください。



清茂先生のご長男、小山茂様より本年も記念展示室へと貴重な資料28点をご寄贈頂きました。カセットテープが主軸です。昨年ご寄贈頂いた楽譜本類28点と合わせ感謝を込めて10月30日のコンサートの際特別展示をさせていただきます。

2年間も延期となった第5回メモリアルコンサート、10月30日(日)会場は信里小学校体育館をお借りして満を持して盛大に開催したいと思います。メインゲストの大木隆明先生は群馬県高崎市から駆け付けてくださいます。熱血先生の「大木語録」が響き渡りましょう。オモトハル

久遠峯志先生と万年青春バンドは飯綱町からです。最高のムード音楽熱波です。信里小学校児童(5～6年生)の歌声も見逃すわけにはいきません。

小山清茂記念展示室特別運営委員会
委員長 大久保 邦良



信里地域委員会公式WEBサイト

<https://nobusato.net/>

信里地域委員会の情報や信里だより、空き家情報、地域委員会や事務局スケジュールなど様々な情報を発信しています。是非アクセスしてみてください。

スマートフォン・タブレットからもご覧いただけます。

